

歴史と信仰の足跡をたどる

(座学)近畿の神社・仏閣を訪ねて見よう

日程: 2026年9月16日(水)

場所: 北大阪生涯学習ホール (午前 10 時～11 時 45 分)

参加人数: 35 名 CA 2 名

講師: 伊藤 純様

テーマ「上賀茂神社/京都市 賀茂の祭と平安朝廷」



先生の資料は何時もながら多くの史実に基づく文献からの引用など詳しい内容で変遷が理解出来ました。一部分を紹介させていただきます。

資料の『1 はじめに』に記されている上賀茂社の葉「勅祭賀茂祭/葵祭」から『賀茂旧記』によると、太古の時代に賀茂神が神山に降臨、欽明天皇(?～571)の時代に起こった自然災害に対し祭祀(往古の神託に習い葵を飾り馬を走らせ盛大な祭)を行ったことが賀茂祭の起こりであると『賀茂縁起』に記載されており、平安時代(806年)には勅祭(天皇が直接関与)となり、819年には賀茂祭を中祀(伊勢神宮と賀茂社のみで行われる国の最も重要な祭の形式)に準じ壮麗なる祭儀の完成となったことの説明で講義が始まりました。

中でも781年の『続日本記』に初めて下賀茂社の記載が賀茂神二社の表現に見られることは興味深くマーカーで印を付けました。

時系列で古代から平安時代からの天皇の関与などについて締めくりがあり頭の整理が出来ると共に重要な京都の祭として今に至っていることがよく分かる講義でした。



詳しい講義の後には、葵祭の行列の見方や儀式などスライドで説明があり興味深かったです。

先生のスライドは表面的なものばかりでなく普段見過ごしているところも多く見応えがありました。

最後に言われた「実際に行ってみること」この言葉が残ってます。毎回多くの資料ありがとうございます。

担当 4 班 宮野